

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2020~2021年度 No.253

## 1 月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ



強調月間：IBC/DBC

### 今月の聖句

御子を信じる人は永遠の命を得るが、御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまる。

ヨハネによる福音書 3 : 3 6

### 1 月第 1 例会 (新年例会) 部長公式訪問

日時：1月22日(金) 午後2時~

場所：ZOOMによる例会

内容：メンバーによる3分間スピーチ

司会：田村 修也副会長

開会点鐘 会長 河野 順子

聖書朗読・祈祷 司会者

ワイズソング斉唱 一同

会長挨拶 会長 河野 順子

乾杯 (好きな飲み物を各自用意する) 副会長 村田 榮

部長公式訪問

部長挨拶・スピーチ 南澤 一右部長

次期東日本区理事 スピーチ 大久保 知宏

メンバーによる3分間スピーチ

「私、今年やりたいこと・やろうと考えていること」

その後、フリートーク

YMCA報告 藤生主事・平山主事

ワイズ報告 会長 河野 順子

その他 シイタケ昆布の注文

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

新型コロナの拡大、栃木県に非常事態宣言発出を受けて、ZOOMを使っての初めての例会を開催します。

招待者は、平山主事です。午後1時50分ごろに皆様のメールアドレスにURLを送りますので、それをクリックしてください。

2020~2021年度 主題

国際会長：(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

アジア太平洋地域会長：(AP) David Lua (台湾)

「変化をもたらそう」

東日本区理事：(RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう！」

北東部長：南澤 一右 (仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 12月例会データ (出席率：80%)

在籍者 6名 (内 功労会員1名) 例会出席者 4名

ビジター 5名

### 1月 Happy Birthday

1/7 藤生 容子メネット

1/15 田村 暁美メネット

### ・1月第2例会 (役員会)

日時：1月5日(火) 午後1時30分から

場所：田村副会長宅

### ・1月第1 (新年) 例会

日時：1月22日(金) 午後2時~

場所：ZOOMによる例会

### ・2月第1例会 (ユースリーダー報告会)

日時：2月22日(月) 午後7時~

場所：ZOOMによる例会

## 巻 頭 言

田村 修也

2021年の歩みが始まりました。例年ですと教会の元旦礼拝の祝福をもって新しい年の第1歩を踏み出すのですが、コロナ禍の中で元旦礼拝はオンラインによる礼拝になりました。

私は毎年1月元旦に歌う讃美歌があります。それは讃美歌21の368番です。毎年繰り返し賛美してもいつも新たな思いで賛美することが出来ます。

「新しい年を迎えて 新しい歌をうたおう。 なきものをあるがごとくに

呼びたもう神をたたえて 新しい歌をうたおう。

過ぎ去った日々の悲しみ さまざまなうれいもすべて キリストのみ手にゆだねて、

み恵みがあふれるような 生きかたを今年はしよう。

みことばにはげまされつつ 欠け多き土の器を 主の前にすべて捧げて、

み恵みがあふれるような 生きかたを今年はしよう、

自分だけ生きるのではなく みな共に手をたずさえて、 み恵みがあふれる国を

地の上に来たらすような 生きかたをしよう。」

何度も何度も繰り返し賛美しているので、覚えてしまいました。

80年の歩みを終えてこの春には81年の歩みを始めます。これまでを振り返って、キリストを基底としての教会、ワイズ、YMCAはじめ様々な活動の交わりを通して、思いをはるかに超えた豊かな交わりの中で生かされてきたことを感謝しています。

2013年9月に日本YMCA同盟から出版された「日本YMCA人物事典 われらまた こぞりて起たん」を読み返しています。今改めて目を通して見ますと、入手した時には感じなかった懐かしい思い出深い方々が紹介されているのに感激しています。既に召された方々ですが、私が出会いを通して、また著書を通して大きな影響を受けてきた方々の名前を見ては、その時のことを思い出しています。今ある私は、今になって気付かされるのですが、YMCAの枝に繋がれて育てられてきたのでした。それもキリストの体である教会に繋がることによって新たに始められた人間形成の道でした。

414名の方々が紹介されており、18歳で洗礼を授けて下さった賀川豊彦先生もYの会員でした。井口保夫さんは宇都宮Yの設立準備の任を負って来られた井口進さんのお父さんで、東京四谷新生教会で妻が家族ぐるみで交わりを持っていました。妻は共に会計担当をしていました。藤森 元さんは宇都宮大学聖書研究会・学Y時代に主事として指導に当たってくれた方です。この時代に矢内原忠雄東大長は大学の創立記念の講演者としておいでになり、多様な時間を割いて学Yの部室に来て頂き、交わりの時を持ってくださいました。諏訪治男さんが書かれた二神三男牧師は、栃木地区青年会時代に諏訪さんの所属する足利教会の牧師として赴任され、お世話になった先生です。季 仁夏先生はアジア学院の理事で、宣教師であり西那須野教会の牧師であった朴 美愛先生の母教会に在任の感謝の訪問をした時に同行してくれました。その際韓国語の分からない私たちに通訳としてお世話頂きました。奥田耕天先生は西那須野幼稚園の園歌を作曲してくれた方、増山瑞比古さん、鈴木留蔵さん、鈴木彪平先生、墨谷三喜男先生等々次から次へと思い出がよみがえって来ます。今年も、これからもこの豊かな交わりの中で、ワイズ、Yの会員として歩んで参りたいと思います。



## 12月第1例会（クリスマス賛美例会）

日時：12月12日（土）午後6時～

場所：日本基督教団 西那須野教会

参加者：河野、田村、藤生、村田の各メンバー、田村メネット、ビジター：潘牧師ご夫妻、木村真紀子、石川さんご夫妻、平山主事。

恒例のクリスマス例会を、日本キリスト教団西那須野教会をお借りして行いました。

今回は、例年であれば「養徳園」の子供達や先生方・「聖園那須老人ホーム」の方々・そして那須YMCAユースボランティアリーダーなどを招待して賑やかに行っていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため招待出来ず、また「飛沫」が感染要因の一つであるため、飲食（ティータイム）を伴う「第2部クリスマス祝会」は中止とし、「第1部キャンドルサービス」のみの例会となりました。

教会の礼拝堂を会場としましたが、間隔を広く空けて座り、賛美歌など歌も1番のみとし、感染対策を取って会を進めました。初めに「例会開会」を行いました。開会点鐘、ワイズソングと続き、会長あいさつでは日本のクリスマス普及について話をされました。

引き続き「キャンドルサービス」を行いました。礼拝堂のパイプオルガンの音色に包まれながら、キャンドルに点火をして始まりました。讃美歌をキャンドルの幻想的な灯りの中で歌い、そして西那須野教会潘牧師から、『マリアがいなければクリスマスは無かった。イエスはいなかった。』『暗闇でも光があると明るくなる。光があるところに闇は無い。イエスは光としてやってきた。』『マリアはイエスを身ごもる使命を受け入れた。私たちワイズメンの使命・役割とはなにか。コロナ禍で地域にどのように光として役立つことが出来るか。』『ワイズはイエスを学び、地域に光を照らす。』というクリスマスメッセージを頂きました。

パイプオルガンで奏でられた後奏を聞きながら、クリスマスを迎える幸せを感じることが出来ました。コロナ禍で参加者は多くありませんでしたが、“光のある、クリスマス例会となりました。

## 1月第2例会（役員会）報告

日時：1月5日（火）午後1時30分～

場所：ZOOMで

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山主事

協議事項

### 1. 1月新年例会について

西那須野教会をお借りして、1月22日（金）午後6時から行う。予定であったが、新型コロナウイルスの拡大に伴い、初めてのZOOMによる例会と

する。招待者は、平山主事。午後2時より開催。好きな飲み物を持ち寄り、メンバースピーチで行う。

### 2. 2月例会について

2月22日（月）午後7時～ZOOMによるユースリーダーによる報告会を開催する。報告者は、五十嵐リーダー。招待者は、YMCA。ユースリーダーの参加を歓迎。

### 3. 3月役員会（第2例会）について

3月10日（水）午後1時30分～ZOOMを利用して行う。尚、2月の役員会（第2例会）は中止とする。

### 4. その他

・メンタル面でユースリーダーの皆さんの事が心配である。

・コロナ対策としては、水を飲んで喉を潤すことが大切である。

・シイタケ昆布の購入を1月末ぐらいに行う。



## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第93回）

田村修也

右御聞届ケニ相成に付土木課及南書記官殿随員6人派出従是全政府之御工事トナル

同4月15日鴉森に於起工式御執行  
北白川宮殿下内務御閣下御臨場土木局長三島通庸殿  
當縣令樺山資雄殿随官一同御臨席無滞此工事ノ如此速ニ出来ノ事ハ先ニ試工事中ニ而其土工6分通出来シヲレハ僅々数月ニシテ此成功ヲ見ルニ至ル右御執行之節是迄水路出願苦心の段被聞召 北白川殿及印南矢板江銀杯三組下賜候

那須開墾の事業モ明治13年11月二起り僅々数年間ニシテ両水路ヲ見ルニ至ル此通水後ハ他國人陸續来テ移住センヲ求

加之鐵道ノ工事成功以来日一日方モ盛ニシテ日々新ヲ加ル力如實ニ國費御多端中特別之御恩徳ヲ以巨額ノ金圓を御支出被下置為ニ今日此盛況ヲ見ルニ至レリ

當20年ニ至テ本社開墾式百丁歩余 殖林六百丁

至然生ノ林ノ保護ヲ加ヘ生育殖林ノ形ヲナシタルモノ八百丁歩移民貳百八十餘戸此移住民ノ起ス所本年ニ調査ニ據リ三百七十餘丁歩ヲ起シ現ニ當春蕎麥千五百表程東京ヘ出シタリ 猶追々起發八年増増加ス那須原特有物産モ未前途目的不定或ハ甘菜ヲ栽培シテ砂糖製スヘシト 或煙草又ハ麻ヲ一略栽培して紡績機ヲ可据付杯種々説ニ而未陸稻大小豆之祖外特有ノ物産ニ迷フカ如シ 然ニ近頃移民中信濃地方之者百三四十戸も移住セリ 此等ハ皆蚕産ヲ以是迄業ヲ營シモノ故頗其事ニ熟練タルヲ以幸當時於本縣頻ニ御奨励有之蚕業ト目途ヲ定メ從昨年桑畑栽培ノ事ニ専ラ從事罷在候 是其業ノ易ク其事ニ熟したるもの多数有之為也

今文作五十有六才十九年 甚病苦ニ被侵年来素志果シ不得 歎キ十九年七月以後居ヲ那須原ニ移セリ 然レ共病未全不癒 事業モ未央憂心所止ヲ不知次第ニ御座候 右 履歴差額傳上申仕候

右

本社直轄開墾百五十餘丁 杉檜等ヲ移植シ又ハ至然生ノ樹木を保護シタル森林壹千五百餘丁人民ヲ移殖シタルモノ貳百五十四戸 此移民ノ開墾ニ約スルモノ凡三百餘丁 兩人而明治十年已來疏水事件」ニ費シタル自費金貳千八百餘円

矢板ノ履歴ニモ右ノ如ク認メタリ

旧西那須野町は開拓百年記念事業とし印南文作・矢板武「一那須野が原開拓先駆者の生涯」を昭和56年3月31日に発刊しました。その本文中に「先駆者・文作」が1節に設けられていますので、全文をそのまま紹介いたします。

文作は天保から明治維新後の時代に57年間の生涯をおくった。その一生はきわめて進取に富んだ生き方であった。12才の時生家と」その家業から離れ、寺に仕えながら学問に勤しんだ。文久2年(1862年)19才のとき、郷里日光を出て街道筋の佐久山に移った。「花の佐久山」と呼ばれた活気のある宿場であった。幕府の衰退とともに生彩を失いつつあった郷里は、覇気ある青年をとどめることができなかつた。佐久山に旅宿を営み村役を預かる印南丈七の養子生活の舞台を拵げ、その人柄は一廻りも二廻りも大きくなり、次第に市井の信を得て町年寄を務めるようになった。当世、長子は家業を継ぎ、生まれた土地に住みつくのが習慣であったが、文作はその因習を破り自ら力を培ったのである。封建社会にあつては決断を要する歩み方であった。

慶応2年(1866)には関東取締寄場組合35か村取締となり、この役どころと街道旅宿の業は世情の回路を果たす一面があり、騒然とした政情など

の察知にはずいぶんと役立つところがあった。文作自筆の履歴書には「明治元年1月、王政新異公布太政官ヨリ駅次ヲ以テ送り來ル、此ノ前年西京ニ事有、幕府大政を返上スト、此時文作大ニ感ズル所アリ・・・」とある。大いに感じるどころが一体どのようなものであったかは、その後の文作の在りように問わなければならない。(以下次号に続く)。

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

新型コロナウイルスに感染されて病床にある方のご回復、医療・介護関係者、そして、感染対策のために労されている方々に感謝し、ご健康を祈ります。また、罹患による差別がないように願います。

「無理しないで休んどきな。

疲れをとるのも仕事のうちだよ

(銀の匙 アキのお母さん)

年長組最後のキッズダンスのレッスンは子ども達に大人気の「鬼滅の刃」でした。子ども達が曲に合わせてとても、楽しそうに踊っていて、私もうれしくなりました。私は「鬼滅の刃」を読んでいませんが、「銀の匙 Silver Spoon」は愛読コミックの1つです。たまに頼まれる講演や実習生のオリエンテーションには、そこに出てきた名言を必ずと言って良いほど引用させていただいています。

「答えはひとつだけじゃなくていいんだ(八軒勇吾)」、「自分にあつた仕事につくつてのはもちろんかっこいいけどさ。自分を仕事に合わせるってもありだとおもうんだ(大川先輩)」等です。これを読んだ当初は、そこまでは思いませんでしたが、昨年のコロナ禍によって早まった正解のない時代、VUCA(ブーカ)時代を生きるにはこれらの名言が必要な非認知能力のキーワードだと思うこの頃です。

A君は、黒羽刑務所のキリスト教教誨(きょうかい)で出会った青年です。刑期を終えて県外の高齢者介護施設に勤めています。時々遊びに来たついでに寄ってきて、いろんな話をしてくれます。以前、「今はロボットがレクレーションをやるんですよ。これが良く出来ていて」と、面白そうなので幼稚園でも使えるかと、何件か調べたりもしました。また、良い悪いは別として、人気のある高齢者の施設はゲームセンターになっていて、そこでしか通用しない通貨で楽しんでいる、外に出ていかない等です。A君の話のなかでこれはと思った話は、ストレスの

解消法についてです。高齢者施設の夜勤は1人体制で個室におられる18人を担当することが国の基準だそうです。2人に何かあった場合はどうするのだろうかと素人の私でも大変な仕事だと想像できます。彼は曰く、「仕事とそれ以外のオンオフが出来ませんと長く介護施設には勤められません。自分はロードバイクとコンサートで仕事と切り替えています」、コロナ禍の最近では、利用者の感染防止も考えてこの寒いなか1人キャンプを楽しんでいるそうです。デイキャンプをして夜勤に行くとか、1泊した朝キャンプ場から出勤するとか、私には返ってストレスと思いますが、ストレスとの付き合いは人それぞれです。彼は「自分にあった仕事につくってのはもちろんかっこいいけどさ。自分を仕事に合わせるってもありだとおもうんだ(大川先輩)」を実践しています。私は、冒頭引用したことばを思い出すと少しホッとした気持ちになります。

保護者の皆様も子育てと仕事の両立で大変ななかにおられると考えます。また、このような社会状況ですが、気分転換もしながら子育てを楽しんで下さい。

※VUCA (ブーカ) Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字。

## アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

### 「必要」と「不要不急」の間

年明け早々首都圏に緊急事態宣言が発出され、新年のお祝いムードはどこかに飛んでいってしまった。「不要不急」の外出自粛要請が出て、再び自分にとっての「不要不急」を真剣に考えなければならない時が来た。そんな中、年末に読んだある新聞記事(12月26日朝日新聞)を思い出した。京大の佐伯啓思名誉教授の書いた「コロナ禍 見えたものは」という記事だ。

佐伯氏は、「不要不急」の反対の「必要火急」が生命の維持に直接関わらないことだとすると、「不要不急」は『生命維持』からすれば、無駄なもの、過剰なものということになるが、「この無駄なものを止めた途端に、「必要火急」が切迫し、「生命の維持」さえも危機に陥ることとなった。」と切り出した。そして「となれば、現代社会において、われわれの生命や生存は、「不要不急」なもの、無駄な

もの、過剰なものによって支えられているということになる。」とし、それはなぜなのかということを中心に述べている。

佐伯氏はその答えはとても簡単で、「現代社会では、あらゆる活動が市場化され、人は日々の食料から刺激的なエンターテインメントに至るまで、ほとんどの物やサービスが市場によって供給されるからだ。」と言い、「もはや市場に依存しなければわれわれは生きてゆけない」とする。確かに忘れもしない10年前の震災の時、このあたりの小さなコンビニすら水やおにぎりの棚は空になり、ガソリンスタンドには車の長蛇の列があった。今回のコロナ禍では「不要不急」と思われていたエンターテインメントやいわゆる「夜の街」関連のビジネスが制限されると、それに連なる実に多くの業種や人々に影響が及び、その人たちの生命維持が危ぶまれることが分かった。また無駄や過剰と思われているものは人間にとって重要な「文化」を生み出すことも歴史が証している。もはや「市場経済は、「不要不急」と「必要」を区別することなく、いっさいを「必要」とみなすほかない。」と佐伯氏は言う。

しかし、「だがそれでも」と佐伯氏は続ける。「われわれは、何が「必要」で何が「不要不急」かを改めて問うた。人は最低限の「必要」だけで生きていくわけではない。しかしまた、「不要不急」の無限の拡大は、人の生から本当に必要なものを奪い去りかねない。そしてわれわれは「必要なもの」と「不要なもの」の間に、実は、「大事なもの」があることを知った。」と言う。その「大事なもの」は市場で取引され、利潤原理で評価できるものではない、例えば信頼できる人間関係、安心できる場所、地域の生活空間、なじみの店、医療や介護の体制、澄んだ空気、大切な思い出などだという。そして、この「大事なもの」は人によってもそれぞれ違うものなのだろう。さらにこの「大事なもの」とは、「必要」も「不要不急」もそれによって支えられているから、「大事なもの」は支えるべきものである、とも佐伯氏は言う。

私は、このコロナ禍が人々に自分にとっての「必要」でも「不要不急」でもない「大事なもの」を見出す機会となっているならば、それはとても意味のある時なのではないかと思う。そしてアジア学院は、きっと創設の時から今に至るまで、人間にとっての「大事なもの」に焦点を当て、それを大事にしようと努力を重ねてきたようにも思う。だとすれば、このコロナ禍はアジア学院が多くの人との距離を縮めるいい機会ともいえる。

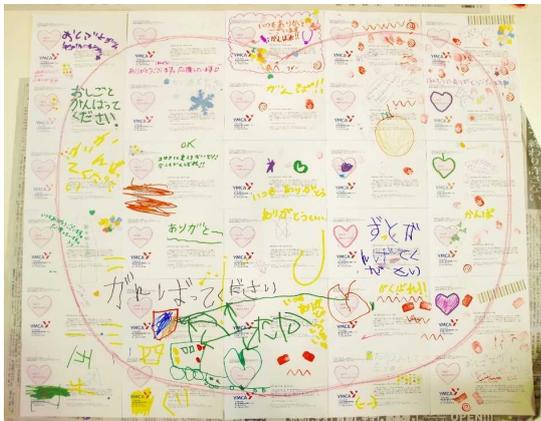
## YMCAだより

### 【とちぎYMCA 年末年始のプログラムが中止になりました】

12月下旬・1月上旬のデイプログラム及びキャンププログラムがコロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

そのため、12月下旬には代替プログラムとして12月のキャンプに参加する予定だった子どもたちと宇都宮YMCAにてお正月遊びや医療従事者の方々への年賀ハガキ作りなど楽しい時間を過ごしました。

12月下旬・1月上旬のシーズンプログラムは思ったようにできませんでしたが、リーダーたちは目の前にいる子どもたちに「今」何が出来るか一生懸命考え、楽しい時間を作り上げてくれました。



### 【千葉・とちぎ・ぐんまYMCAインターナショナル・チャリティーラン2020～バーチャリティーラン～】

今年のチャリティーランは、オンラインで開催します。YMCAインターナショナル・チャリティーランは集められた寄附金で全国の障がいのある子どもたちに、キャンプなどに参加する機会を提供しようという趣旨で1987年に日本YMCA同盟国際賛助会のプログラムとしてはじまりました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、千葉YMCA・ぐんまYMCAと合同でオンラインの開催となりました（とちぎYMCAは第15回目の開催）。

『バーチャリティーラン』は「バーチャル」、「リアリティー」、「チャリティーラン」を掛け合わせた造語です！ご自分に合うスタイルでのご参加をお待ちしております。

#### 【受付期間】

2020年12月1日(火)～2021年1月31日(日)

#### 【競技実施期間】

2021年1月10日(日)～2月10日(水)

#### 【オンライン閉会式・表彰式】

2021年2月14日(日) 13:00～

#### 【開催場所】 オンライン

#### 【参加費】

- ①スピードの部 2,000円/エントリー
  - ②距離の部 2,000円/エントリー
  - ③誰でもチャレンジの部 500円/エントリー
- みんなで497.19km(よくなっていく)を目指そう！

#### 【お問い合わせ】 チャリティーラン事務局

028-624-2546 (菅井・荒井・坂本)

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの1月の予定】

・1/4(月)～6(水) 年始ウィンタープログラムスタート

冬っこ3Days、1/9(土)～10(日) 那須シュプールスキーキャンプ、1/17・1/24(日) ワンデイスキー@エーデルワイススキー場(中止)

- ・1/16(土) サタデークラブ@宇都宮動物園(予定)
- ・1/23(土) サタデークラブ@宇都宮動物園(予定)
- ・1/30(土) サタデークラブ@雪遊び(なす高原自然の家)

## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言



- ① 石崎萌々(はち)
- ② 那須拓陽高校 食物文化科
- ③ 栃木県
- ④ 友だちに勧められて。
- ⑤ 宇都宮動物園です。理由は最初に参加した活動でとても楽しかったからです。
- ⑥ 大学に進学したい。これからも沢山活動に参加して子ども達と仲を深めていきたいです。

## 編集後記

2021年も、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されたり、中止になったりの1年間になりそうです。コロナに負けないで新しい活動形式を見つけていきましょう。

年賀はがきの3等(お年玉切手シート)を今年も集めます。当選番号は、60, 58, 50です。

ワイズの会費半期分25,000円を集めております。会計村田までお願いします。